



## 第40回

地域おこし協力隊が行く！

# 実は隣のスゴイ人



曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、小濱 健一さんにご紹介いただいたこの方は、「安心安全な暮らしを支援しているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは江藤裕一でお届けします。



【今回のスゴイ人】  
岩本 秋光さん

**今**回は末吉にて、あんしん元気の野菜を育てている岩本秋光さんにお話を伺ってきました。

岩本さんは佐賀県唐津市の出身。広島製の製鉄所に勤めていましたが奥様の実家がある末吉へと移ったのち、都城のスナックで働き始め、その後ご自身でも開業しました。

そのスナックでお客さんから、とある酵素と断食の話を知ったことから、岩本さんも実践。その効果を実感した岩本さんは、まわりにどんどん広めていきました。

「当時糖尿病だったお義母さんにも断食を進めて。諦めていた目の手術が受けられるようになるまで回復したんです」

その噂を聞きつけた販売会社から九州での酵素販売を岩本さんに任せたいという話があり、販売側に。酵素を知ることにつれ、昔からあったある想いが沸き上がります。

「20代の頃から食べ物が大事

で医食同源という想いがありました。農薬、化学肥料を使わず、酵素と微生物で発酵した自家製肥料を主体とした農業を実現しました」

平成28年には曾於市総合大で農業の講師に。現在まで75名が講座を受講していて、修了生の20数名は、まだまだ岩本さんの講座を受けたい！と、岩本さんの運営する「あんしん元気野菜塾」で引き続き実習をしています。

そんな岩本さんを突き動かすのは「安心して元気の野菜を作り続け、食べる方の健康の役に立ちたい」という想い。子ども食堂へ野菜の提供などもしています。

「これからも元気である限り頑張る。80歳まで元気に現役で、それ以降の人生はおまけで好きに楽しむ」という岩本さんのお話を伺い、想いがあれば必ず実現していける。岩本さんの力強さを感じました。

## 協力隊の活動報告

2月から中小企業庁が運営する「ミラサポ」という制度で創業支援・事業承継・ウェブ関係の専門家として登録されました。鹿児島に来て自分の活動がさらに広がっています。

またKKBさんの「ふる熟人」というコーナーで自分が地域おこし協力隊として起業支援や移住関係の仕事について、実際に相談対応しているところなどを取材していただきました。

などなど、すでに新たなスタートを切っていて、また新年度からも鹿児島県よろず支援拠点による企業相談対応等の事業も予定し、自分自身も起業の相談対応ももっと行っていくこととし、新たに気合を入れなおして進んでいきます。



江藤裕一